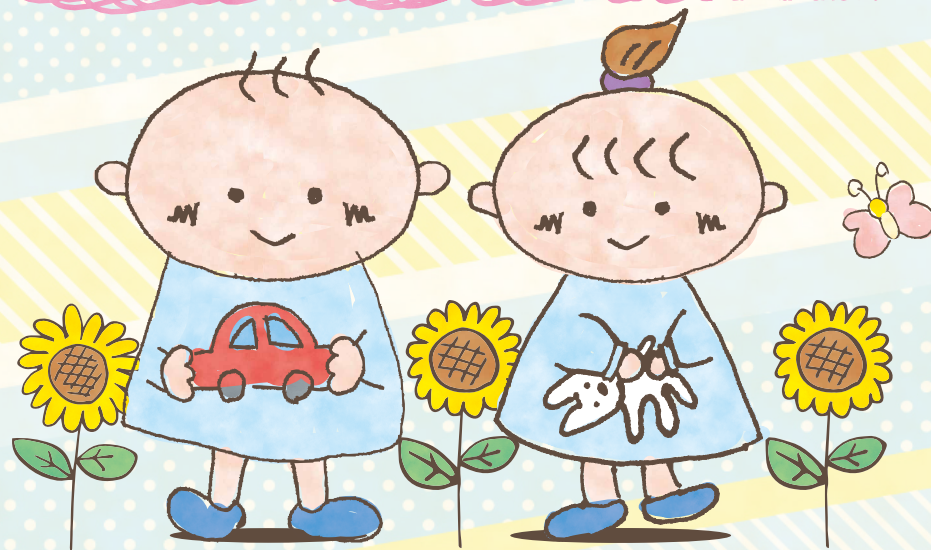


ちょっと

# わが子の発達が 気になった時の ハンドブック



相模原市立療育センター 陽光園

〒252-0226 相模原市中央区陽光台 3-19-2

TEL.042-756-8410

令和8年4月発行

相模原市立療育センター 陽光園

相模原市発達障害支援センター

# もくじ

はじめに	1
行動には理由がある	2
声をかけてもふりむかない、目と目が合いにくい…	3
食べ物の好き嫌が多くて…	4
ミニカーを一列に並べてばかり…片づけると怒る…	5
人が多い場所を嫌がって、子どもと出かけるのがゆううつ…	6
スーパーで買い物していると、 急に大泣きして泣き止んでくれない…	7
予定が変わると怒ったり泣いたりする…	8
かんしゃくが多い…	9
初めて取り組む活動や場所を嫌がる…	10
園や学校の休み時間にひとりで遊んでいるみたいで…	11
公園ですべり台の順番が待たなくて…	12
何度言っても片づけない…	13
何度言っても宿題をやらない…	14
いろいろなことが理解できるのに、勉強が苦手。 読み書きや音読、計算などが他の子どもより時間がかかる。	15
「行動には理由がある」を氷山に例えると…	16
発達が気になる子への関わり方	17
応援メッセージ01(先輩お母さんから)	18
理解のある環境と支援～二次障がいを防ぐために	20
安心して暮らすために～SPELL～	22
応援メッセージ02(公認心理師から)	24
相談や支援ができる機関	26
小学校・義務教育学校に向けた準備のめやす	28
取組や制度	30
各機関の支援	34
相談窓口	36
参考：発達障がいとは	39
応援メッセージ03(医師から)	40



## はじめに

この冊子は、幼児期から小学校低学年のお子さんの保護者やご家族に向けた「子育て応援ハンドブック」です。

子どもには、ひとりひとり違ったその子なりの育ち方があります。例えば、ご飯を食べる速さもひとりひとり違いますし、欲しい物がある時、泣く子もいれば、何度も指差しする子もいて、同じ目的に対する行動もひとりひとり違います。毎日の子育ての中で、保護者やご家族が心配したり、悩むようなお子さんの行動は、実はお子さん自身のSOS(助けて欲しいというサイン)かもしれません。

大切なことは、まず保護者やご家族が、お子さんの特性を知ることです。そして、お子さんの行動の背景にある理由(○○するのは、△△という理由だから)を考えることで、お子さんの特性に合わせた関わり方が明らかになってきます。

保護者やご家族だけで悩まず、地域で子育てをサポートする場所があることを知って欲しいと思っています。

そのための第一歩として、このハンドブックをご活用ください。



## 行動には理由<sup>わけ</sup>がある

まわりから見ると「なぜ？」と思う行動でも、お子さんにはその行動をする理由<sup>わけ</sup>があります。

例えば、「何度も蛇口から水を出したり、止めたりする」という行動一つを取り上げても、「水がキラキラするのが見たいから」「水を触りたいから」「蛇口を回したいから」などの理由が考えられます。

お子さんの行動には、どのような理由があるのでしょうか？どんな気持ちなのでしょう？

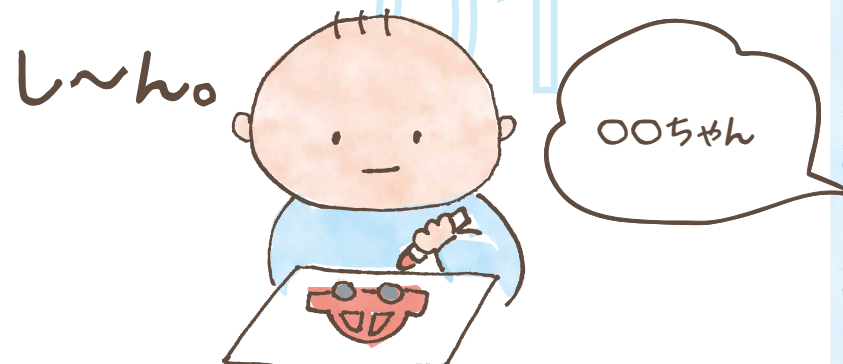
こうした考え方をしてみることで、関わり方のヒントが見つかるかもしれません。



## こんな時、「どうして?」「どうする?」

### どうして

声をかけてもふりむかない…  
目と目が合いにくい…



### こんな理由かも…

- お母さんから話しかけられていることに注意が向きにくいかもしれません。
- 興味のあるものに注意が集中しているのかもしれません。

### ひと工夫!

- ① 話しかけるときは、顔が見えるようにこどもの正面から話しかけましょう。
- ② 興味のあるおもちゃなどを大人の顔に近づけて見せて、顔に気づくように促してみましょう。

## どうして

食べ物の好き嫌いが多くて…

02



### こんな理由かも…

- 味やにおいが嫌い
- 食感が嫌い ・ 見た目が嫌い
- スプーンやフォークの感触が嫌い…  
などの理由があるかもしれません。

### ひと工夫!

- ① 子どもによって理由はさまざまです。無理に食べさせるのではなく、様子を見ましょう。成長と共に食べられるようになることもあります。
- ① 大切なのは食事の時間が嫌いにならないようにすることです。「どっちが好き?」「もっと食べたい?」など、コミュニケーションの機会にしましょう。

## どうして

ミニカーを一行に並べてばかり…片づけると怒る…

03



### こんな理由かも…

- 整然と並べることが心地よく、並べることにこだわっているのかもしれない。

### ひと工夫!

- ① 遊び方は子どもによってそれぞれです。こだわっていることを無理にやめさせるとうまくいきません。
- ① 箱に並べて片づけるなど、こだわりを生かした工夫をしましょう。

## どうして

人が多い場所を嫌がって、  
子どもと出かけるのがゆううつ…

04



### こんな理由かも…

- 感覚の過敏さがあって、人ごみのザワザワした音、においをつらく感じるのかもしれない。

### ひと工夫!

- ① イヤマフやイヤフォンで、周囲の音が気にならないようにする、マスクをするなど、本人が楽になる工夫をしましょう。
- ② 皮膚の感覚や光に対する過敏など、人によってさまざまな過敏があります。その人にあった工夫で、ストレスを減らしましょう。



## どうして

スーパーで買い物していると、  
急に大泣きして  
泣き止んでくれない…

05



### こんな理由かも…

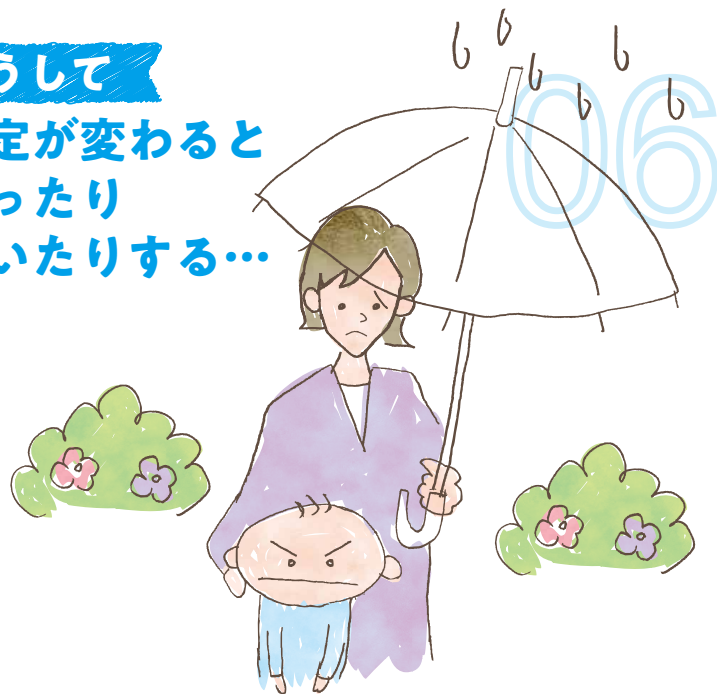
- 人がいっぱい落ち着けないのかもしれない。
- 大好きなお菓子を見たら、欲しくなったのかもしれない。

### ひと工夫!

- ① 静かな場所で落ちつくのを待ちましょう。
- ② お菓子売り場を通らないようにするなど、大泣き起きないよう事前の工夫が重要です。

## どうして

予定が変わると  
怒ったり  
泣いたりする…

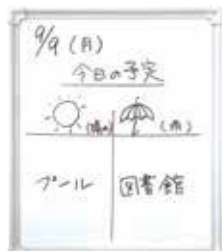


### こんな理由かも…

- 見通しが立たず、不安なのかもしれません。

### ひと工夫!

- ① 天気や家族の都合で予定変更が予想される場合は、事前に伝えましょう。
- ① カレンダーやホワイトボードで、見てわかるような工夫が有効です。



## どうして

かんしゃくが多い…

07



### こんな理由かも…

- 自分の気持ちがうまく伝えられないのかもしれない
- 疲れているのかもしれない。

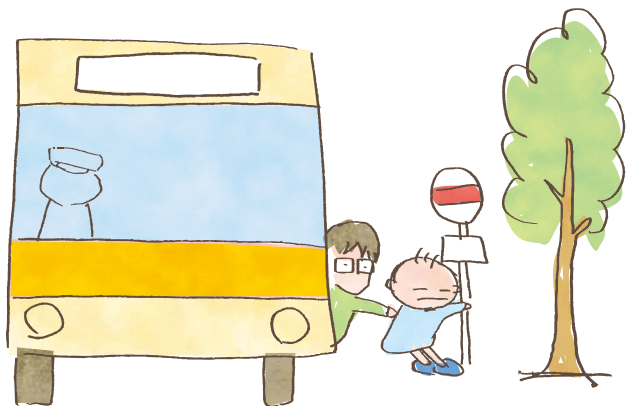
### ひと工夫!

- ① 安全な場所で、かんしゃくが収まるのを待ちましょう。
- ① 何をしたかったのか?、何が嫌だったのか? など、かんしゃくの原因を考えてみましょう。
- ① 疲れている様子なら、休息時間を作りましょう。

## どうして

### 初めて取り組む活動や 場所を嫌がる…

08



#### こんな理由かも…

- どう取り組むかわからず、不安なのかもしれません。
- イメージが持てず、不安なのかもしれません。

#### ひと工夫!

- ① 初めて取り組むことは、最初から最後までの手順を写真で見せるなどして説明してみましょう。
- ② 初めての場所は、事前に場所や交通手段(電車など)の写真やビデオを見せて、イメージをもてるようにしましょう。

## どうして

### 園や学校の休み時間に、 ひとりで遊んでいるみたいで…

09



#### こんな理由かも…

- ひとりで遊びたいことがあるのかもしれません。
- ひとりで過ごしたいのかもしれません。

#### ひと工夫!

- ① 大人にもひとりで本を読む時間があるように、ひとりで好きなことをする時間は、大切です。
- ② 子どもの遊びにまずはおとなが興味を持って、たまには「これ、何?」、「すごいね!」などと話しかけてみましょう。

どうして

公園ですべり台の  
順番が待てなくて...

10



こんな理由かも...

- いつまで待てば良いのか、見通し  
がもてないのかもしれない。

ひと工夫!

- ① 「次の次だよ」など、見通しがもてるような声かけ  
を試みましょう。

どうして

何度言っても片づけない...

11



こんな理由かも...

- 片づける場所や分別の仕方が  
わからないのかもしれない。

ひと工夫!

- ① 物の置き場所を決めましょう。  
写真や絵を貼ると、  
わかりやすくなります。



## どうして

何度言っても宿題をやらない…



### こんな理由かも…

- ①宿題が難しいのかもしれない。
- ②どこまでやれば終わるのか、見通しがつかず、意欲がもてないのかもしれない。
- ③テレビやゲームが気になっているのかもしれない。

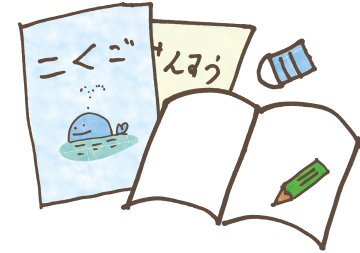
### ひと工夫!

- ①まずは簡単にできる問題に取り組み、ほめてあげましょう。どうしても難しい宿題は、学校の先生に相談してもよいかもしれません。
- ②「問3までやったら終わり」など、終わりを分かりやすく示しましょう。
- ③テレビを消す、ゲーム機を見えないようにするなど気が散らない工夫をしましょう。



## どうして

いろいろなことが理解できるのに、勉強が苦手。読み書きや音読、計算などが他の子どもより時間がかかる。



### こんな理由かも…

- ・聴覚または視覚での情報処理や、見たものをパッと言葉にする力に難しさがあるのかも…
- ・手先の使い方や目の動かし方に難しさがあるのかも…

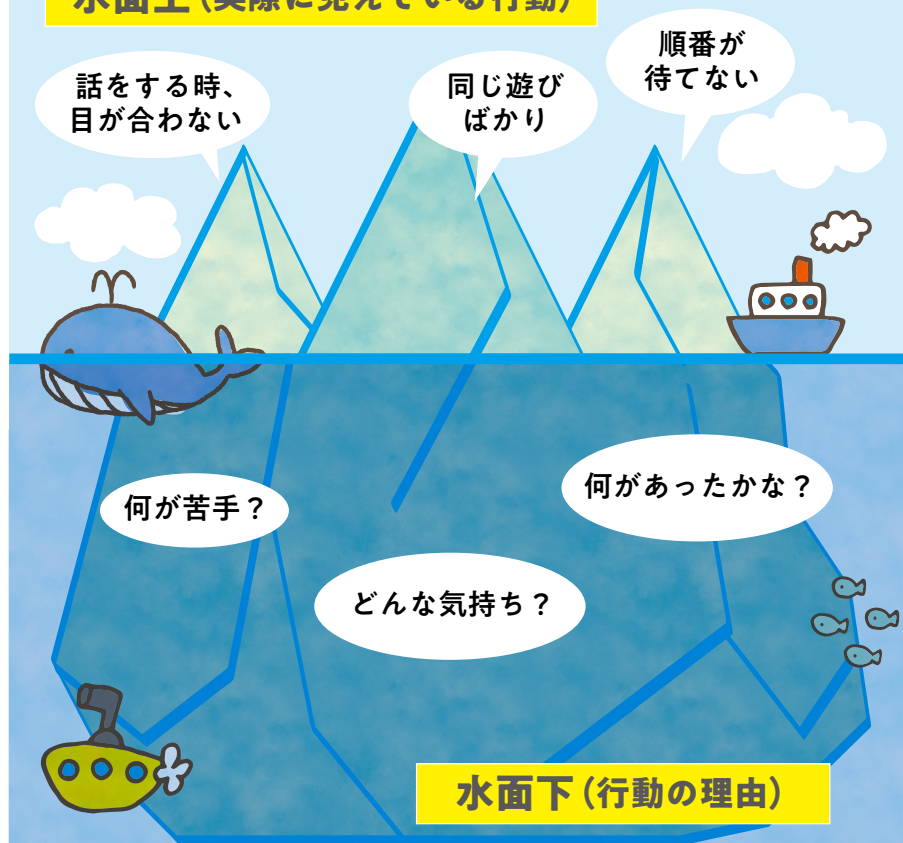
### ひと工夫!

- ①子どもによって要因はさまざまです。学校の先生と一緒に、難しさの要因や関わり方の工夫を見つけましょう。
- ②子どもの勉強への苦手意識を強めないために、出来ないことは、学校の先生に相談した上で、手伝ってあげましょう。
- ③子どもが自信を持って、苦手な勉強に少しずつ取り組めるよう、勉強以外の趣味や興味も大切にしましょう。

## 「行動には理由がある」を 冰山に例えると…

参考：佐々木正美編「自閉症のTEACCH実践」

### 水面上(実際に見えている行動)



気になる行動を水面上に見えている部分とすると、水面下の見えない部分には行動に影響を与えている様々な要因があります。

## 発達が気になる子への関わり方

気になる行動の理由として、そのお子さんの得意なことと苦手なことが影響していることがよくあります。そして、発達が気になる子の中には、得意なことと苦手なことの差が大きい(発達凸凹)タイプのお子さんもあります。

苦手なことは、努力不足ということではありません。周りの人が工夫して、サポートしましょう。得意なこと、好きなことは褒めて認めてあげましょう。

### 家庭でできること

安心できる環境を作りましょう

予定表やカレンダーを活用して、「いつ・何を・どこで」行うのかをわかりやすくしましょう。

伝え方を工夫しましょう

写真や絵を示しながら伝えましょう。



右記市のホームページにリハビリの視点による関わり方のコツを掲載しています！

「お子さんへの関わり方のコツ 試してみよう！知って得するリハビリの視点」  
<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kosodate/1026602/kosodate/1026606/jyoho/1032597.html>

### 地域での相談・支援機関

地域には、お子さんの発達に関する気がかりや関わり方の工夫について相談できる場所があります。

心配なことは、各区の子育て支援センター・療育相談班に相談してみましよう(→P34)





# 理解のある環境と支援 ～二次障がい※を防ぐために～

※二次障がいとは、発達の特徴からくる困り感に対し、適切な理解や支援が得られないことから引き起こされる二次的な問題(障がい)です。不登校やうつ症状などを引き起こすこともあります。理解のある環境と適切な対応が、二次障がいを防ぎます。

発達の  
特性

理解のある  
環境

理解のない  
環境

適切な対応  
(褒める・認める)

不適切な対応  
(叱る・否定する)

適切な支援

自分らしさ

二次障がい

安心・自信

達成感  
やる気が出る

- ・不安になる
- ・自信がない

- ・やる気がでない
- ・なげやりになる
- ・反抗的な態度

# 安心して暮らすために ～ SPELL ～




〈SPELLとは〉  
イギリス自閉症協会が提唱する、  
最善の支援の5つの原則

- 1 構造化 (Structure)
- 2 肯定的な関わり (Positive)
- 3 共感 (Empathy)
- 4 ストレスの少ない環境 (Low arousal)
- 5 連携 (Links) の頭文字です。

## 1 構造化 (Structure)

～わかりやすい枠組～

やること

- ① きがむ 
- ② ごはん 
- ③ あそぶ 



行政

## 2 肯定的な関わり (Positive)

～ほめて、認めて～



療育

## 3 理解と共感 (Empathy)

～その子らしさで～



教育

## 5 連携 (Links) ～つながる～



医療



# 応援メッセージ

専門家の先生から

02

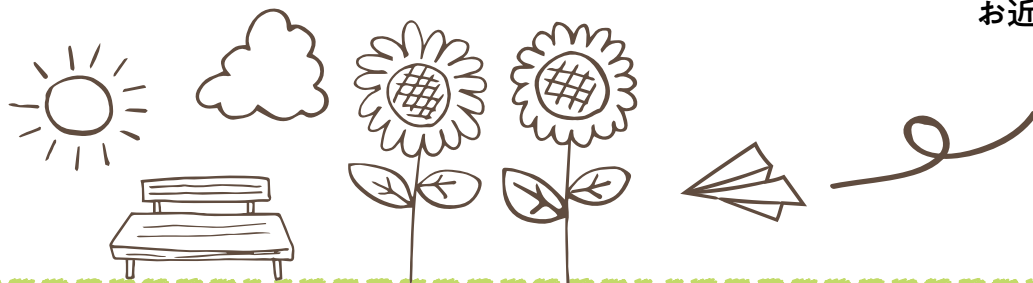
## 日戸 由刈先生

(相模女子大学教授 公認心理師)

発達が気になるお子さんを育てる親ごさんにとって、いちばんの心配事は「うちの子、将来どうなっちゃうの!？」。実際、幼少期に発達凸凹だった人たちの成人期の姿は、周囲(家庭・学校など)の理解と育て方によって、いくつかのタイプに分かれます。

### 【放任されちゃった!!タイプ】

周囲がお子さんの発達凸凹に目をつむり、必要なサポートを何もしないと、お子さんは社会のルールや枠組みをなかなか習得できません。社会の中でみんなと協調してやっていくことが難しくなる場合もあります。



### 【自己評価が低下しちゃった!?タイプ】

周囲がお子さんの発達凸凹を直そうと焦って、訓練・指示・禁止・叱責を繰り返すと、お子さんは時間をかけて委縮していきます。何事にも自分から取り組む意欲が低下し、社会参加そのものが難しくなる場合もあります。

### 【適度な理解とサポートを得られたぞ!のタイプ】

周囲がお子さんの発達凸凹を正しく理解し、日常生活を通して一緒に楽しむ機会を持ち、自分でできることは自分でやらせ、できないことは手伝ってあげると、自律心と相談力のある大人になる場合が多いです。

…ポイントは、親ごさんが発達凸凹を知り、無理のない育て方のコツを学ぶこと。そのために、ぜひお近くの相談機関や医療機関をご活用ください。

# ～相談や支援ができる機関～

乳幼児期 (0歳～6歳)

学齢期 (6歳～18歳)

成人期 (18歳～)

子育て支援センター

関連ページは  
→P34・36



発達障害支援センター

関連ページは  
→P35・36

保育園・こども園・  
幼稚園

小・中学校・義務教育 学校

- ・特別支援学級 関連ページは →P 34
- ・通級指導教室
- ・特別支援学校 など

高等学校

- ・特別支援学校
- ・通級指導教室 など

大学

- ・学生相談室 など

教育相談課

- ・青少年教育 相談など

関連ページは  
→P34・37

支援教育課

- ・就学相談など

関連ページは  
→P34・36



児童発達支援センター・  
児童発達支援事業所

関連ページは  
→P35

放課後等デイサー ビス事業所

関連ページは  
→P35

就労支援事業所など

児童相談所

関連ページは  
→P38

各高齢・障害者相談課、 各福祉相談センター

関連ページは  
→P38

医療機関

# 小学校・義務教育学校入学に向けた 準備のめやす

年 中

就学に向けての準備について情報収集をする。

- ・就学相談 →P31 参照
- ・学校へつなぐサポート（就学移行支援） →P30 参照
- 5歳児健診を受診する。
- ・お子さんの困りごとや特性に気づき、就学に向けた準備へつなげましょう。

就学先や就学後のイメージを持って準備を始める。

- ※特別支援学校や特別支援学級が選択肢に入ってくると考えられる場合にはかかりつけ医へ相談をしておきましょう。
- ※就学後に療育利用を考える場合は、放課後等デイサービスの情報を収集しておきましょう。

年長 春

年長 夏

年長 秋

年長 冬

特別支援学校（県立）や特別支援学級（市立）への就学を検討している場合は、「就学相談」に申し込む。 →P31 参照

※お子さんにとってのメリット・デメリットをよく吟味して就学先を選択していきましょう。  
あわせて「学校へつなぐサポート（就学移行支援）」の利用も検討しましょう。

通常の学級への就学を決めている場合は、「学校へつなぐサポート（就学移行支援）」の利用を検討する。 →P30 参照

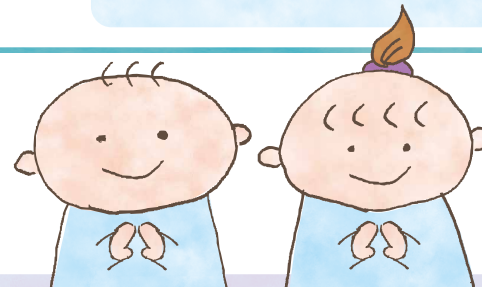
「学校へつなぐサポート（就学移行支援）」を利用する場合は、申込みをする。

就学後に放課後等デイサービスなどを利用する場合は、各高齢・障害者相談課、各福祉相談センターで手続きをする。  
→P38 参照

秋頃から、学校に伝えたい情報（お子さんの得意なこと、苦手なこと、園での支援の工夫等）を「Mapまっぷ～つなぐページ～」を使ってまとめ始め、完成したらコピーを入学説明会で提出する。

## 小学校・義務教育学校入学

必要なサポートを得ながら学校生活のスタートです！！



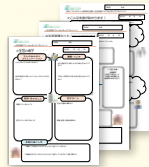
## 学校へつなぐサポート（就学移行支援）

小学校・義務教育学校就学にあたって、お子さんの特性や就学前の支援内容を保護者が学校へ伝えることで、就学後にお子さんが安心して学校生活を送ることを目指すものです。

年長児の保護者が作成した、お子さんの特性や支援内容が書かれた「生活支援プランMap（まっぷ）つなぐページ」を、就学先、関係機関等で共有をします。

### 《生活支援プランMap（まっぷ）つなぐページとは》

お子さんの成長や状況を整理し、具体的な援助方法とともにお子さんの特性などを書くことができるシートです。このシートを先生などお子さんに関わる方々と共有することで、お子さんが生活しやすい環境づくりへ繋がります。3種類のシートがあります。



### 《保護者がすることのポイント》

- ①市ホームページから申し込みます。
- ②お子さんの特性や支援内容を「生活支援プランMap（まっぷ）つなぐページ」のシートに記入します。
- ③記入した「生活支援プランMap（まっぷ）つなぐページ」のシートを1部コピーします。
- ④入学説明会のタイミングで小学校・義務教育学校に提出します。

※詳細は市ホームページをご覧ください。（説明動画もあります。）  
市ホームページ [学校へつなぐサポート](#) で検索。

### 【問合せ先】

陽光園 療育相談室  
☎042-756-8435 月～金曜日（祝日を除く） 8:30～17:00



## 就学相談

小学校・義務教育学校へ入学予定で、特別な支援を必要とするお子さん一人ひとりの特性に合わせた就学先を保護者の皆様とともに考えていきます。

就学先として特別支援学校や特別支援学級を希望されている方は就学相談にお申し込みください。

教育的配慮が必要なお子さんについて、ご家庭、在園施設・医療機関等の様々な情報から、発達状況をふまえ、保護者と相談を行います。教育支援委員会の判断をもとに、お子さんに合った就学先を決定していきます。



※詳細は市ホームページをご覧ください。（説明動画もあります。）  
市ホームページ [就学相談](#) で検索。

### 【問合せ先】

支援教育課 ☎042-769-6134



## 障害者手帳

障害者手帳には、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」、「身体障害者手帳」の3種類があります。

発達障がいのある方は、「療育手帳」や「精神障害者保健福祉手帳」に該当する場合があります。

また、障がいの種類や程度によって、いろいろな福祉サービス(手当など)を利用することができます。

※詳しくは、市が発行している「障がいのある方のための福祉のしおり」をご参照ください。市ホームページにも掲載しています。

市ホームページ    で検索。

## 障害福祉サービスの受給者証

児童発達支援や放課後等デイサービスなどの福祉サービスを受けるために必要です。

## 特別児童扶養手当

精神(発達障がいなど)、知的または身体障がい(内部障がいを含む)等が国で定める程度の状態にある20歳未満のお子さんを養育している方に対して支給される手当です。該当するかどうかは、提出された診断書などにより、総合的に判断されます。(該当にならない場合もあります。)また、所得制限があります。

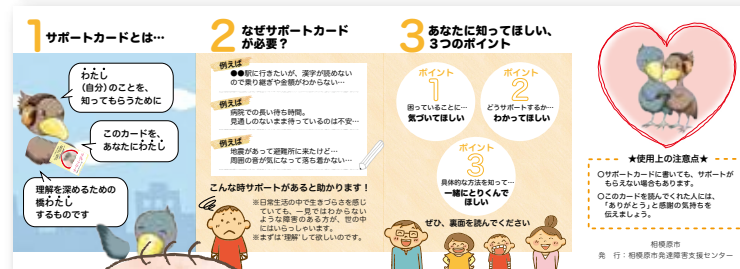
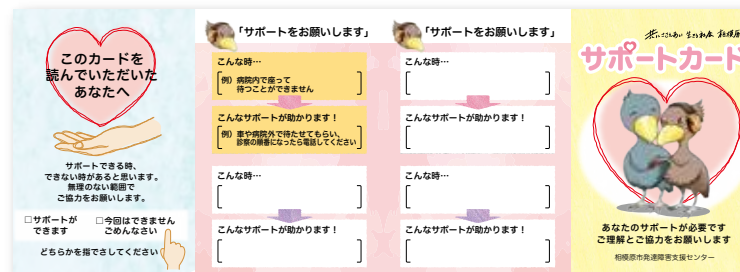
※詳しくは、市ホームページ等をご参照ください。

市ホームページ  で検索。

【問合せ先】各高齢・障害者相談課、各福祉相談センター→P38

## サポートカード

主に発達障がいがある、発達が心配であるなどのお子さんの保護者、あるいはご本人(大人の方)が、生活のさまざまな場面で困った時など、周囲の方に理解してほしいことをわかりやすく相手に伝えるためのカードです。



《下記窓口で配布しています》  
 発達障害支援センター  
 各子育て支援センター(療育相談班)  
 児童相談所、各高齢・障害者相談課  
 各福祉相談センター、精神保健福祉センター

【問合せ先】  
 発達障害支援センター 042-756-8411

## 各機関の支援

### 子育て支援センター（療育相談班）

- 発達・障がいに関する相談  
子どもの発達や障がいに関する相談をお受けしています。  
問合せ先→P36

### 学校



- 通常の学級  
大きな集団の中で子どもに対する配慮や工夫をしています。子どもの状況に応じて週に1回、通級指導教室で特性に合わせた支援を行います。
- 特別支援学級  
少人数のクラスで、子どもの発達の特性に合わせた支援を行います。

### 教育相談課

- 不登校支援、青少年教育カウンセラーによる支援、スクールソーシャルワーカーによる支援、教育支援センターの利用についての相談などをお受けしています。  
問合せ先→P37

### 支援教育課

- 就学相談（児童生徒にとって、どこで学ぶのが適しているかの相談）や、特別支援学級・通級指導教室（児童生徒の言葉やコミュニケーションの指導支援を行う場）の利用についての相談などをお受けしています。  
問合せ先→042-769-6134

### 発達障害支援センター

- 発達障がいに関する相談  
高校生年齢以降の方を対象に、発達障がいに関する相談をお受けしています。
- 普及啓発  
発達障がいの理解促進のための啓発活動や研修を行います。  
問合せ先→042-756-8411



### 児童発達支援センター

- 地域の中核的役割を果たす機関として位置づけられ、未就学児を対象に発達特性に合わせた支援を継続的に行うとともに、保護者への支援を行います。各区1か所に設置されており、利用には手続きが必要です。  
・利用の問合せ先/各子育て支援センター→P36  
・児童発達支援センターの情報は、市ホームページ「各区児童発達支援センター」をご覧ください。



### 児童発達支援事業所

- 地域に点在し、未就学児を対象に発達特性に合わせた個別・小集団での支援を継続的に行うとともに、保護者への支援を行います。利用には手続きが必要です。  
・利用手続きの問合せ先/各高齢・障害者相談課、各福祉相談センター→P38  
・児童発達支援事業所の問合せ先/各事業所

各事業所の情報は「障害福祉情報サービスかながわ」のホームページをご覧ください。



### 放課後等デイサービス事業所

- 支援の必要な学齢児を対象に、放課後や長期休暇中の居場所作りや、日常生活における必要な支援をしています。利用には手続きが必要です。  
・利用手続きの問合せ先/各高齢・障害者相談課、各福祉相談センター→P38  
・放課後等デイサービス事業所の問合せ先/各事業所

各事業所の情報は「障害福祉情報サービスかながわ」のホームページをご覧ください。



### 医療機関

- 発達障がいの診断は、小児科や児童精神科などの医師が行います。診断を受けることで、周囲の理解や支援が受けやすくなります。適切な対応の工夫の相談ができます。

## 相談窓口

### 『育児やしつけなど、子育てについての様々な相談』

(相談日時：月～金曜日 午前8:30～午後5:00 ※年末年始・祝日を除く)

お住いの区	名称	問合せ先
緑区	緑子育て支援センター	042-775-8815
中央区	中央子育て支援センター	042-769-9221
南区	南子育て支援センター	042-701-7700

### 『発達・障がいに関する相談』

(相談日時：月～金曜日 午前8:30～午後5:00 ※年末年始・祝日を除く)

〈主に乳幼児～中学生の発達や障がいに関する相談〉

お住いの区	名称	問合せ先
緑区	緑子育て支援センター・療育相談班	042-775-1760
	緑子育て支援センター・療育相談班・津久井担当	042-780-1420
	緑子育て支援センター・療育相談班・相模湖担当	042-684-3737
	緑子育て支援センター・療育相談班・藤野担当	042-687-5515
中央区	中央子育て支援センター・療育相談班	042-756-8424
南区	南子育て支援センター・療育相談班	042-701-7727

〈主に高校生年齢以降の発達障がいに関する相談〉

お住いの区	名称	問合せ先
市内全区	発達障害支援センター	042-756-8411

### 『就学相談』

(相談日時：月～金曜日 午前8:30～午後4:30 ※年末年始・祝日を除く)

お住いの区	名称	問合せ先
市内全区	支援教育課	042-769-6134

### 『青少年・教育相談』

19歳以下の青少年(相模原市内に在住・在勤・在学[国籍は問いません])に関する全般的な相談(不登校・養育不安・いじめ・交友関係・反社会的行動・進路など)。

#### 〈来所相談〉

様々な課題についての面接による相談です。お近くの相談室に予約のお電話をおかけ下さい。要予約。

#### 〈電話相談〉

様々な課題についての電話による相談です。電話相談については、予約なしで受け付けています。匿名での相談も可。

#### 【各室の電話番号】

(相談日時：月～金曜日 午前9:00～午後5:00 ※年末年始・祝日を除く)

お住いの区	名称	問合せ先
緑区	教育相談課・緑相談班・相模湖相談室	042-682-7020
	教育相談課・緑相談班・城山相談室	042-783-6188
中央区	教育相談課・中央相談班・中央相談室	042-752-1658
南区	教育相談課・南相談班・南相談室	042-749-2177

#### 〈学校出張相談〉

原則毎週1回、青少年教育カウンセラーが出張し、学校内の相談室にて児童・生徒に関する相談に応じています。相談室の開室日や相談の予約の仕方につきましては、各学校の相談室、教育相談課各室または担任の先生にご相談下さい。

(相談時間：学校ごとの指定曜日及び時間。要予約。)

## 『ヤングテレホン相談』

19歳以下の青少年が抱えている悩み、心配事について、本人からの電話・Eメール相談をお受けします。また、保護者からの相談にも応じます。


- 電話相談 月～金曜日 午後3時30分～午後9時  
土曜日 午後1時～午後5時  
電話：0120-002-910 ※年末年始・祝日等を除く  
※最終受付:終了15分前
- Eメール相談 24時間受付(返信には数日かかります)  
アドレス yantele @city.sagamihara.kanagawa.jp

## 『子どもに関する養護、障害、非行、育成などの相談』

(相談日時：月～金曜日 午前8:30～午後5:00 ※年末年始・祝日を除く)

お住いの区	名称	問合せ先
全区	児童相談所	042-730-3500

## 『親の会』

お住いの区	名称	問合せ先
市内全区	相模原やまびこ会 (相模原自閉症児・者親の会)	 会のホームページから

## 『障害福祉サービス・障害者手帳・特別児童扶養手当に関する相談窓口』

(相談日時：月～金曜日 午前8:30～午後5:00 ※年末年始・祝日を除く)

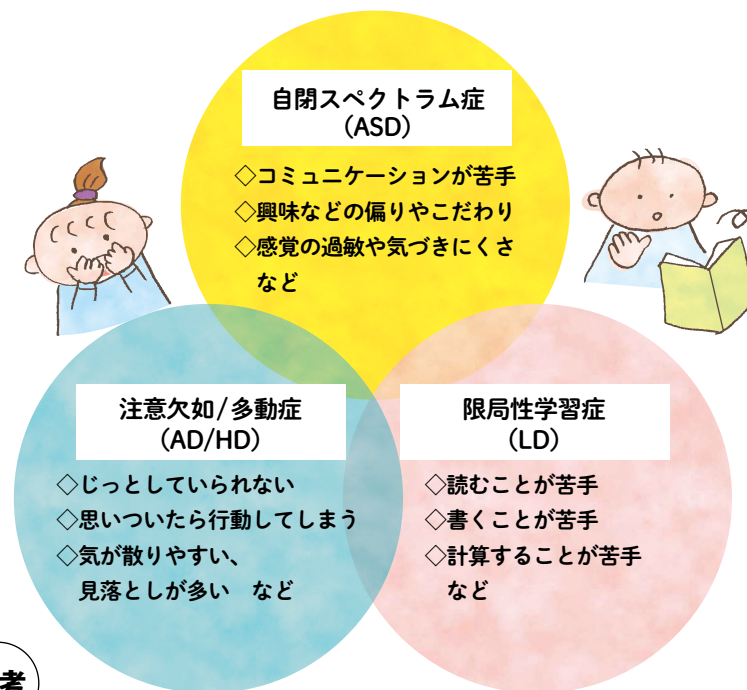
お住いの区	名称	問合せ先
緑区	緑高齢・障害者相談課	042-775-8810
	城山福祉相談センター	042-783-8136
	津久井高齢・障害者相談課	042-780-1412
	相模湖福祉相談センター	042-684-3215
	藤野福祉相談センター	042-687-5511
中央区	中央高齢・障害者相談課	042-769-9266
南区	南高齢・障害者相談課	042-701-7722

## 参考：発達障がいとは

発達の特性によって生活上の支障が起きる状態を、発達障がいと言います。

医学的には、自閉スペクトラム症、注意欠如/多動症、限局性学習症などに分けられますが、しばしば、複数の種類が重複します。

(参考：発達障害がよくわかる本/本田秀夫著 講談社)



参考

〈発達障がいについての情報〉



発達障害ナビポータル

<https://hattatsu.go.jp/>



# 「おわりに」 応援メッセージ

専門家の  
先生から

03

## 神谷 俊介先生

(北里大学病院 児童精神科 医師)

子育ては、感動や心温まる瞬間があり、素晴らしい体験であると同時に、誰もがひとりだけでは乗り越えがたい困難も多い体験です。

特に、発達の偏りがあるお子さんの子育ては、平均的な子育てと違って親ごさんの心配も強く、また周囲の理解や協力も得られづらく、親ごさんの心の余裕がなくなることも少なくありません。

我々、医療機関としても、少しでもそんな親ごさん達の力になりたいと考えています。

### 【受診の前に】

医療機関にすぐつながれることが理想ではありますが、現状、受診を希望される方が増えており、初診の待機期間も非常に長くなっています。

医療機関につながる前にできることとして、まずは気になることがあったら地域の支援機関に相談しましょう。お子さんの発達の特徴を理解しながら、必要な発達を促す支援につながる方が何よりも重要です。

なお、就学相談等を視野に入れた受診のタイミングとしては、年中年齢が妥当かと思えます。

### 【診断について】

お子さんを理解して、必要な支援につながるための“鍵”と考えてはいかがでしょうか。困難にぶつかり、その扉を開く時に“鍵”が必要になることもあります。

### 【お薬について】

まず大事なことはお子さんに必要な支援(療育)を利用していくことですが、危険な行動が頻発する時や、成長を安全に乗り切るために必要になることがあります。

### 【将来について】

卒業後の生活をイメージした関わりが重要と考えています。まずは安定した穏やかな時間、楽しい時間の確保、そしてその子なりのコミュニケーションを伸ばしていくこと、困った時に誰かに頼れるようになることを意識したいです。

